

セミナー
Séminaire

ケベックの詩—その始まりから現在まで—
La poésie québécoise : des origines à nos jours

講師：ナタリー・ワテエヌ(シェルブルック大学教授)
Nathalie WATTEYNE (professeure, Université de Sherbrooke)

カナダのフランス語圏ケベックの詩はどのようにして生まれ、どこへ向かうのか？
本学協定校シェルブルック大学からの招聘研究員に
ケベック社会との関わりの中で分かり易くお話しいたします。

日 時 : 2012年4月23日(月) 18:30~20:00 le lundi 23 avril 2012

場 所 : 立教大学池袋キャンパス 11号館3階 A303教室

Université Rikkyo, salle A303, Bât.11, 3^e étage

<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>

<http://english.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>

司会・通訳 : 小倉和子 (本学異文化コミュニケーション学部教授)

(入場無料 Entrée libre)



講師略歴:

1964年、モントリオール生まれ。ケベック市・ラヴァル大学にてフランス語表現文学・創作で修士号を取得した後、パリ第十大学にて比較文学の博士号取得。フランスとケベックの近・現代詩を専門とする。現在、ケベック州シェルブルック大学、文学・人文学部教授。同大学附属アンヌ・エベール研究センターの中心的人物として、アンヌ・エベール作品の批評版出版に貢献する。『叙情性と叙情的発話』(2006年)、『1980年以降のケベック文学における身体のエクリチュール』(2007年)、『ブローの不安定さ』(2008年)、『アンヌ・エベール関連年譜・研究目録』(2008年)など、編著書多数。みずからも詩人である。

対 象 : 本学学生、大学院生、教職員、一般
主 催 : 立教大学異文化コミュニケーション学部
連絡先 : 小倉和子 ogura@rikkyo.ac.jp
後 援 : 日本ケベック学会